



「仙南復興ソーシャルビジネス・ギャザリング」 地域共通テーマ議論のとりまとめ

起業家はどこを目指せば持続可能となるのか。それには、“役割をつくる”ということが重要なことだと考えます。働き手や担い手の不足がいわれるなか、例えば高齢者も働き手となりえます。結果として、医療費の減少や納税者の増加につながると考えます。

また、事業の規模については、必ずしも拡大を目指さなくとも、その人にあった適正な規模での経営が肝心であり、適正規模の事業者が多く存在することが持続可能な地域運営にとっても不可欠になると思われます。

【具体案】

- 価値観の変化を認めることの、一人ひとりの意識改革
- 近隣の市町との連携を意識し、手を結び、相互補完を図る
- ボランティアとビジネスの、それぞれの良さを提供しあう場づくり
- 身近でわかりやすいネーミングなど、地域ブランド名の再構築
- 未来の子どもへの支援を地域社会づくりの柱に据える
- 食・エネルギー・ケアの地産地消を目指す
- 過去や地域の「知」を学び、まちづくりや地域ビジネスに活用することの再認識
- 空き地、耕作放棄地にコミュニティ農園を設置しやすくし、地域で運営する仕組みづくり